

号外

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2014年(平成26年)

1月24日(金)

発行所 琉球新報社
郵便番号 T900-8525
那覇市天久905番地
©琉球新報社2014年

美里工センバツへ

初の甲子園に闘志



選抜出場に向け気勢を上げる美里工ナイン=2013年12月11日、沖縄市泡瀬の同校グラウンド

沖尚と同時出場

沖尚と美里工は昨年の県秋季大会決勝で対戦、続く九州大会でも初の県勢決勝対決を実現した。沖尚は県大会では準優勝だったが、続く九州大会で雪辱し、秋の九州2連覇を達成。さらに全国10地区の代表校が集う明治神宮大会でも快進撃を見せ、決勝は六回まで0-8の劣勢をひっくり返す圧巻の逆転劇で県勢初の頂点に立った。

美里工は県秋季大会決勝で沖尚を延長戦の末に3-0で破って21年ぶりの優勝を飾った。九州大会は最後に1点差で涙をのんだが、初戦、準々決勝を1-0差で勝ち抜いた投手力や活発な打線など、総合力の高さを印象付けた。

選抜大会には秋季地区大会の成績を基にした一般選考29校(九州地区の神宮大会枠1を含む)と21世紀枠3校が出場。組み合わせ抽選会は3月14日に行う。

第86回選抜高校野球大会(3月21日から12日間・甲子園)の出場校を決める選考委員会が24日、毎日新聞大阪本社で開かれ、沖縄尚学と美里工が出席32校に名を連ねた。沖尚は2年連続6度目の出場で、3季連続の甲子園切符をつかんだ。美里工は学校創立48年目で初めて甲子園の土を踏む。県勢の2校出場は、興南と嘉手納が出場して興南が優勝した2010年春以来、4年ぶり2度目。



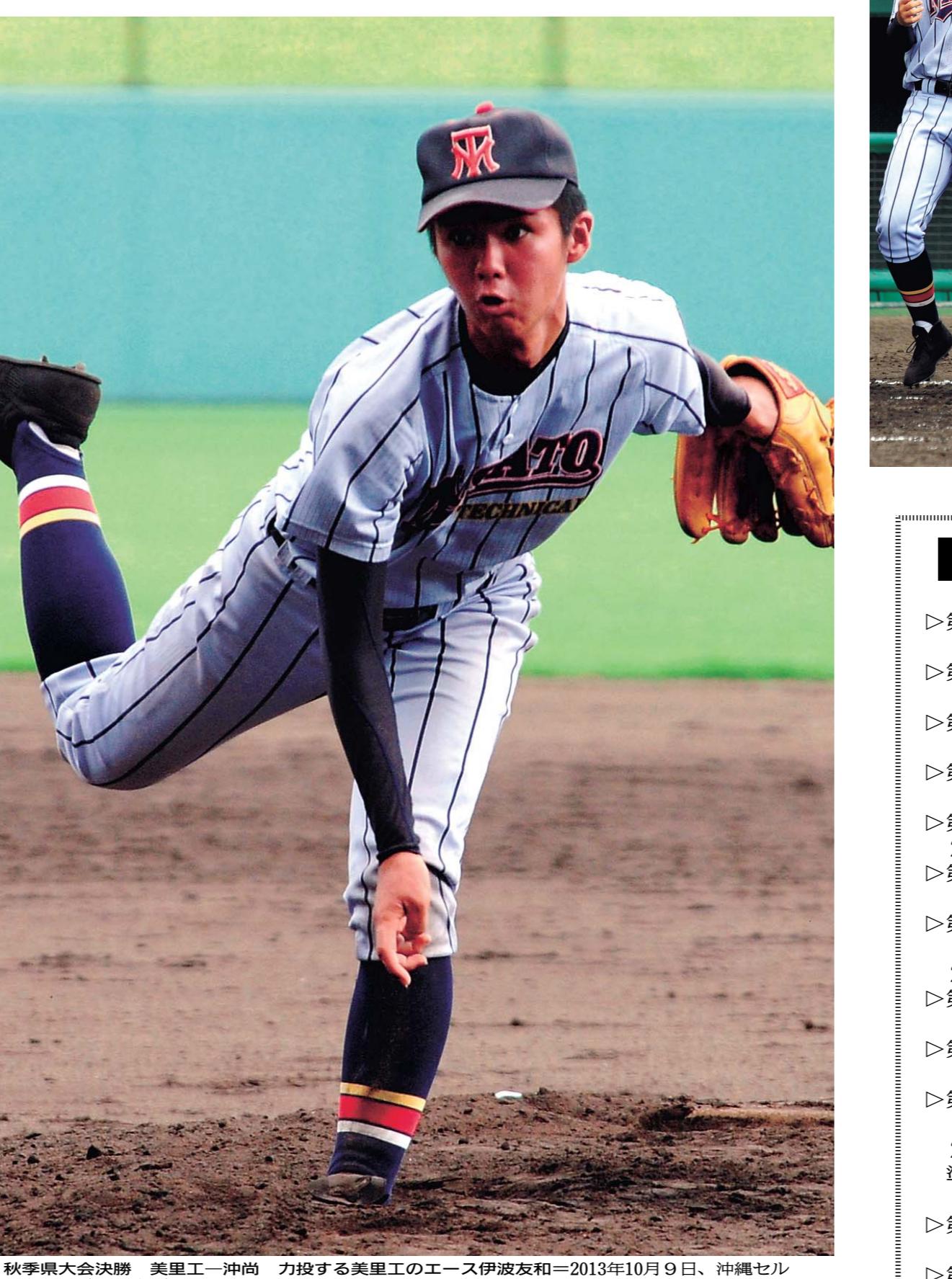
秋季九州大会決勝 沖尚一美里工 8回沖尚2死二、三塁、左前へ逆転の2点適時打を放つ代打の金城太希=2013年10月31日、沖縄セ



秋季九州大会決勝 沖尚一美里工 1回1死一、三塁、先制の適時打を放つ美里工の花城航=2013年10月31日、沖縄セルラー



卷之三



秋季県大会決勝 美里工一沖尚 力投する美里工のエース伊波友和=2013年10月9日、沖縄セルラースタジアム那覇

挑む全国の頂点

早川指鏡九瀬梅
沖田大美鹿倉神西宣田多

秋季九州大会



県勢選抜の成績

通算26勝28敗 ▶ 第50
1回

通算26勝28敗				準決勝			
第32回 (1960年)	北海 (北海道)	4-1	那覇	▷ 第50回 (1978年) 1回戦 桐生 (群馬) 3-1 豊見城	仙台育英 (宮城)	7-1	宜野座
第35回 (1963年)	P L 学園 (大阪)	8-0	首里	▷ 第53回 (1981年) 1回戦 印旛 (千葉) 3-1 興南	▷ 第75回 (2003年) 2回戦 近江 (滋賀) 4-3 宜野座		
第37回 (1965年)	岡山東商 (岡山)	7-0	コザ	▷ 第55回 (1983年) 1回戦 上宮 (大阪) 2-1 興南	▷ 第77回 (2005年) 1回戦 沖縄尚学 16-3 青森山田 (青森)		
第40回 (1968年)	高岡商 (富山)	14-1	沖縄	▷ 第58回 (1986年) 1回戦 上宮 (大阪) 3-1 沖縄水産	2回戦 沖縄尚学 6-1 西条 (愛媛)		
第41回 (1969年)	広島商 (広島)	12-0	首里	▷ 第64回 (1992年) 1回戦 仙台育英 (宮城) 18-11 読谷	▷ 準々決勝 神村学園 (鹿児島) 3-2 沖縄尚学		
第42回 (1970年)	岐阜短大付 (岐阜)	3-0	真和志	▷ 第66回 (1994年) 1回戦 高知商 (高知) 6-0 那覇商	▷ 第78回 (2006年) 1回戦 八重山商工 5-2 高岡商 (富山)		
第43回 (1971年)	普天間	3-2	弘前 (青森)	▷ 第68回 (1996年) 1回戦 沖縄水産 6-3 姫路工 (兵庫)	2回戦 横浜 (神奈川) 7-6 八重山商工		
第44回 (1972年)	日大三 (東京)	7-6	普天間	2回戦 智弁和歌山 (和歌山) 4-3 沖縄水産	▷ 第80回 (2008年) 2回戦 沖縄尚学 1-0 聖光学院 (福島)		
第45回 (1973年)	松江商 (島根)	3-1	名護	▷ 第69回 (1997年) 1回戦 育英 (兵庫) 4-2 浦添商	3回戦 沖縄尚学 3-1 明徳義塾 (高知)		
第47回 (1975年)	函館有斗 (北海道)	5-0	前原	▷ 第70回 (1998年) 1回戦 浦和学院 (埼玉) 4-2 沖縄水産	▷ 準々決勝 沖縄尚学 4-2 天理 (奈良)		
1回戦 豊見城 3-0 習志野 (千葉)	▷ 第71回 (1999年) 1回戦 沖縄尚学 1-0 比叡山 (滋賀)			▷ 準決勝 沖縄尚学 4-2 東洋大姫路 (兵庫)			
2回戦 豊見城 4-2 日大山形 (山形)	2回戦 沖縄尚学 5-3 浜田 (島根)			決勝 沖縄尚学 9-0 聖望学園 (埼玉)			
準々決勝 東海大相模 (神奈川) 2-1 豊見城	▷ 準々決勝 沖縄尚学 4-2 市川 (山梨)			▷ 第81回 (2009年) 1回戦 富山商 (富山) 2-0 興南			
第48回 (1976年)	土佐 (高知) 4-3 豊見城			▷ 第82回 (2010年) 1回戦 花咲徳栄 (埼玉) 4-0 嘉手納			
第49回 (1977年)				1回戦 興南 4-1 関西 (岡山)			
				2回戦 興南 7-2 智弁和歌山 (和歌山)			
				▷ 準々決勝 興南 5-0 帝京 (東京)			
				▷ 準決勝 興南 10-0 大垣日大 (岐阜)			
				▷ 決勝 興南 10-5 日大三 (東京)			
				▷ 第85回 (2013年) 1回戦 敦賀氣比 (福井) 11-2 沖縄尚学			

沖尚センバツ決定

2年連続6度目



2年連続出場に向け健闘を誓う沖尚ナイン=2013年12月3日、八重瀬町の尚学ボールパーク

県勢2校出場 4年ぶり

美里工 学校沿革

沖尚 学校沿革

◆県立美里工業高校

(沖縄市泡瀬5の42の2)

1967(昭和42)年に

琉球政府立中部産業技術

学校として設立。70年に

琉球政府立美里工業高校

となり、72年に県立とな

った。機械科、電気科、建

築科、設備工業科、調理科

の5学科があり、生徒数

は765人。校訓は「自主

・敬愛・勤労」。文部両道

を掲げ、昨年度の資格検

定取得者は延べ907人

に上り、第1種電気工事

士の合格者18人は全国の

から監督を務める。

工業高校で12位。2011

3年度上半期の第2種電

気工事士合格者は80人、

うち野球部33人を含む57

人が部活生だった。

野球部は1969年に

創設され、94年夏の県大

会で準優勝。昨年は夏の

県大会2位、秋季県大会

優勝、九州大会2位と躍

進した。現在の部員は80

人。神谷嘉宗監督は浦添

商を率いた2008年夏

に美里工へ赴任、12年

◆沖縄尚学高校(那覇市国場747) 1957(昭和32)年に開校した嘉数学園沖縄高校が前身で、83年に沖縄尚学高校として新たにスタートした。86年には付属中学校を設立、91年に嘉数学園から分離独立して学校法人尚学学園となつた。高校は2001年からコース制を導入し、普通科に体育コースや東大国公立医学科コースなどがある。生徒数は1140人。校訓は「怖れず、悔らず、

氣負わず」。野球のほか、柔道部やテニス部、なぎなた部も全国大会で活躍している。

野球部は57年に創部した。沖縄高時代を含め今回で春夏通算11度目の甲子園出場。99年春に県勢初制覇を達成、08年春にも優勝した。99年の優勝時にエースだった比嘉公也監督が06年に就任。現在の部員は46人。OBに東浜巨投手(ソフトバンク)嶺井博希捕手(Den A)らがいる。

◆沖縄尚学高校(那覇市国場747) 1957(昭和32)年に開校した嘉数学園沖縄高校が前身で、83年に沖縄尚学高校として新たにスタートした。86年には付属中学校を設立、91年に嘉数学園から分離独立して学校法人尚学学園となつた。高校は2001年からコース制を導入し、普通科に体育コースや東大国公立医学科コースなどがある。生徒数は1140人。校訓は「怖れず、悔らず、

氣負わず」。野球のほか、柔道部やテニス部、なぎなた部も全国大会で活躍している。